

B-3

具体的論拠がありません 重要な関心事であるので、繰り返し深層崩壊及び表層崩壊に対して安全な計画であるとの具体的論拠を求めます

(回答)

深層崩壊及び表層崩壊につきましては、国土交通省のホームページにある平成 22 年 8 月 11 日付、国土交通省河川局砂防部 独立行政法人 土木研究所による「深層崩壊に関する全国マップについて」のプレスリリースにおきまして、「学術的にも未解明な部分が多い深層崩壊について、学会等と連携しながら調査研究を進めるとともに、可能な対策の検討を進めます。」との発表がリリースされており、未解明な部分が多く調査研究が必要である為、具体的論拠をご提示することは不可能です。

学術的に未解明な部分が多いこちらの事象につきましては、過度の開発をやめ必要最小限での規模で事業を計画し森林をより多く残し、県及び市で規定されている最低限の基準を遵守し、余裕をもった計画とすることが必要と考えます。また、近年多発しているゲリラ豪雨や線状降水帯等に対しても十分に配慮した計画とし、それら事象の発生防止を図っております。

B-4

具体的論拠がありません 重要な関心事であるので、繰り返し調整池は絶対壊れないとの具体的論拠を求めます

(回答)

B-3 と同じ回答となります。

B-5

八幡野川の流下能力について $8.8 \text{ m}^3/\text{s}$ は 3/24 付け資料の $8 \text{ m}^3/\text{h}$ と大幅に違っています

(回答)

3/24 付の資料とありますが、平成 29 年 3 月 24 日はいとう漁業協同組合本所にて漁協及びダイバー方々と意見交換会を行っております。その時に配布した資料には流下能力についての記述は明記されておりません。弊社作成の議事録を確認したところ、意見交換会での質疑回答の中で八幡野川に流す量として $8 \text{ m}^3/\text{h}$ と口答にて回答しておりますが、時間と秒の単位を言い間違えております。前回ご提出している回答が正となっております。

設計審査中における説明会や意見交換会につきましては、大前提として説明した数値や工法等が最終決定ではないことをご理解頂きたいと思えます。また、現在も県及び市で設計審査中がございますので、面積や規定値等の細かな数値に関しましては、今後の審査により大きく変更になる場合がございます。

B-6

沈砂池処理前後の水質データを提出して下さい

(回答)

B-1 で回答した通り、添付したカタログをご参照下さい。また、必要であると認められた場合は、水質データをご提出致します。